

地域における統計データの活用 — 地域経済構造分析 —

岡山大学大学院
社会文化科学研究科
中村良平

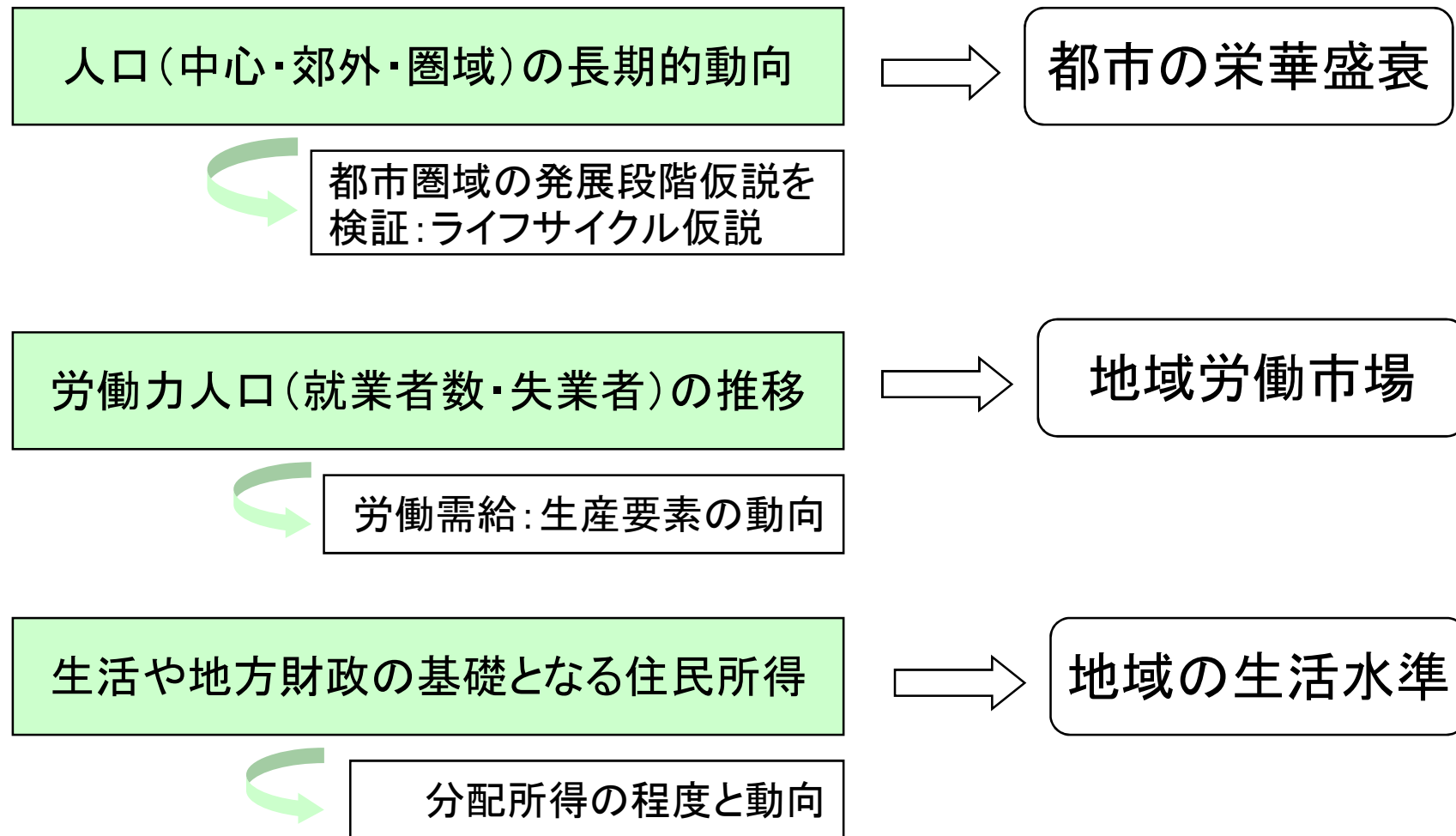
地域経済構造分析

- I. 地域経済の設定.....対象圏域
- II. 地域経済の状況.....人口、雇用、所得、税収
- III. 地域経済の構造.....雇用吸収、所得獲得
付加価値創出
- IV. 地域経済の特徴.....産業構造と成長性、
効率性、安定性
- V. 地域経済の連関と循環
.....財貨・サービスの流れ
産業連関や漏出の検証
- VI. 地域経済の対応.....政策シミュレーション



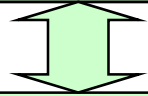
地域経済・産業政策

地域経済分析の視点：Ⅱ（地域の状況）



地域経済分析の視点：Ⅲ（産業構成）

市民生活を支えている産業は何か



どのような産業が雇用を吸収しているか

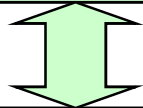
集積している産業

$$L_{ij} / L_{*j}$$

i : industry, *j* : region, * : nation

*L*_{ij} : labor

域外から所得を獲得している産業は何か



相対的に集積した特化産業（移出産業）は何か

特化している産業

$$\frac{L_{ij} / L_{*j}}{L_{i*} / L_{**}} > 1$$

付加価値（所得）を生み出している産業は何か

基幹産業

地域経済を分析する視点：Ⅲ（産業構成）

雇用吸収産業の識別

Agglomerated Industry

ほとんどの地方都市では、飲食業、小売り業、サービス業が雇用を吸収している。しかし、これらの分野は、常用雇用の割合は低く、パートやアルバイトが多い。建設業も雇用を吸収してきたが、最近の公共事業減で低下してきている。観光以外では、これらの産業は域内の所得を循環させる役目を持っている。

移出(基盤)産業の識別

Export (Basic) Industry

域外を主たる販売市場とした産業で、移出産業(域外市場産業)といわれ、一般に農林漁業、製造業が該当する。所得の源泉となることから基盤産業と定義される。

基幹産業の識別

Principal Industry

域内で生産額の大きな割合を占める産業。すなわち、付加価値を多く生み出している産業を意味し、これが地域の分配所得、そして地方税収の源泉となる。

地域経済を分析する視点：Ⅲ（産業構成）

産業の雇用吸収力

versus

産業の地域特化度

雇用を吸収している産業は、必ずしも地域に相対的に集積した（特化している）産業とは限らない。

産業の純移出度

versus

産業の地域特化度

従業者数の特化係数で識別した移出産業（基盤産業）が、実際に外貨を多く獲得しており、かつ移出額が移入額を大きく上回っているか。

産業の付加価値度

versus

産業の雇用吸収力

生産額の大きな割合を占める産業と雇用吸収力のある産業の関係。雇用吸収力はあるにしてもそれに見合う付加価値額がない場合は労働生産性が低い。

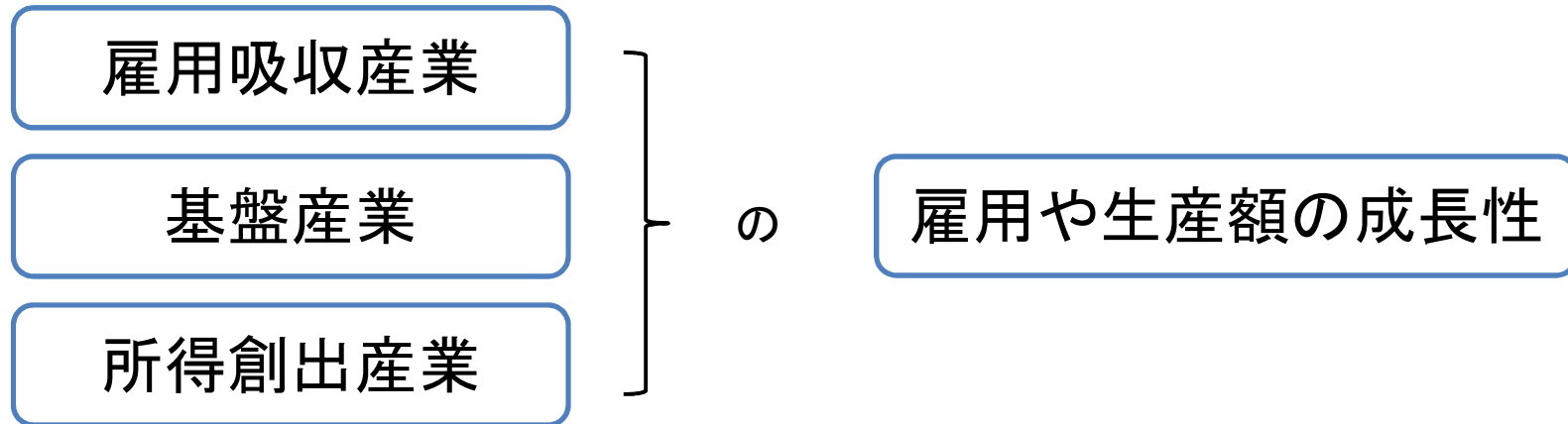
産業の地域特化度

versus

産業の付加価値度

地域経済分析の視点: IV

(効率性、成長性、安定性)

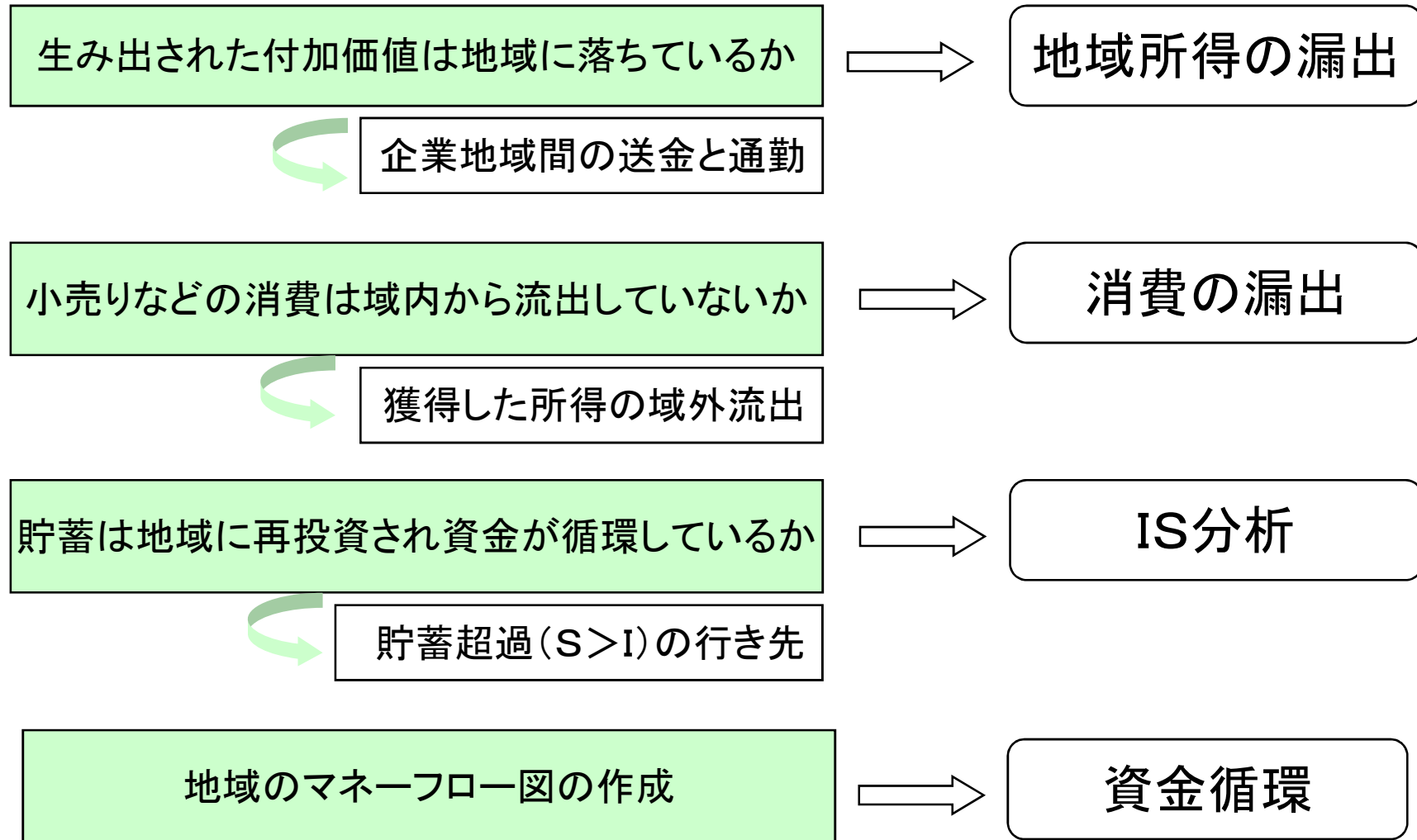


各産業の生産が、(他地域に比べて)効率的に行われているかどうか(供給の視点)

地域産業は、中長期的に見て安定的・持続的に成長しているか

産業の多様性と相互の補完性を見ることで、地域経済の長期的安定性を判断

地域経済を分析する視点：V（循環視点）



これまでの地域構造分析

経済産業省「地域経済構造分析の手引き」平成16年度版、2004年
に基づく、これまでの適用例(一部)

島根県政策企画監室『地域経済構造分析 平成17年度報告書』平成18年3月。
島根県政策企画監室『地域経済構造分析 平成18年度報告書』平成19年3月。

http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/keizai_bunseki/

中小企業基盤整備機構『安来市の産業振興政策立案に係わる調査報告書』
平成18年3月。

中小企業基盤整備機構『出雲市の産業振興政策立案に係わる調査報告書』
平成19年3月。

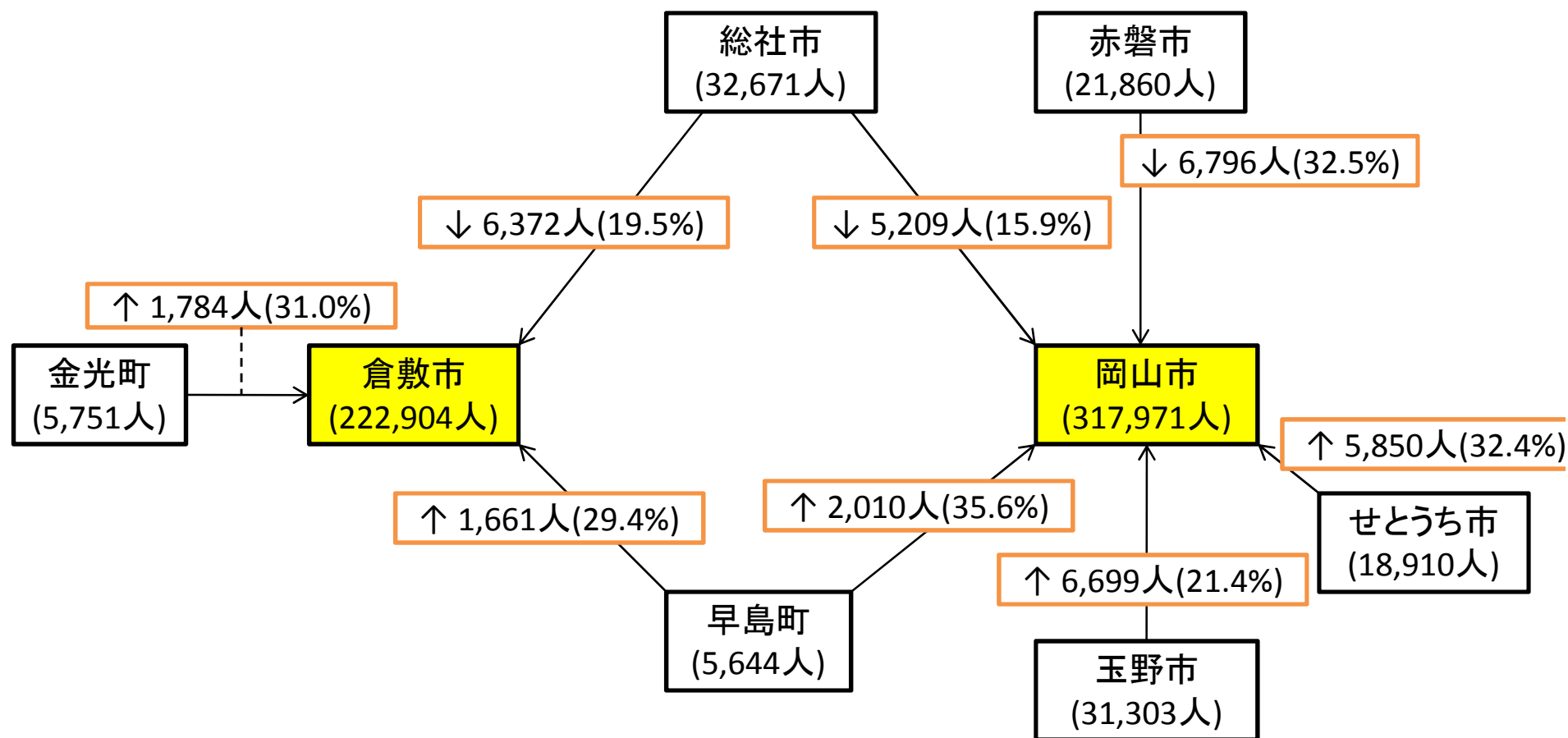
中小企業整備機構『真庭市の産業振興政策立案に係る調査報告書』
平成20年3月。

中村良平『北九州市にみる地域経済構造分析』、東アジアへの視点、19巻1号、平
成20年3月。

中村・柴田・渡里『循環型社会における地域経済活性化の効果』、環境経済・政策
学会、大阪大学、平成20年9月。

中村・森田『持続可能な地域経済』RIETI Policy Discussion Paper, October, 2008.

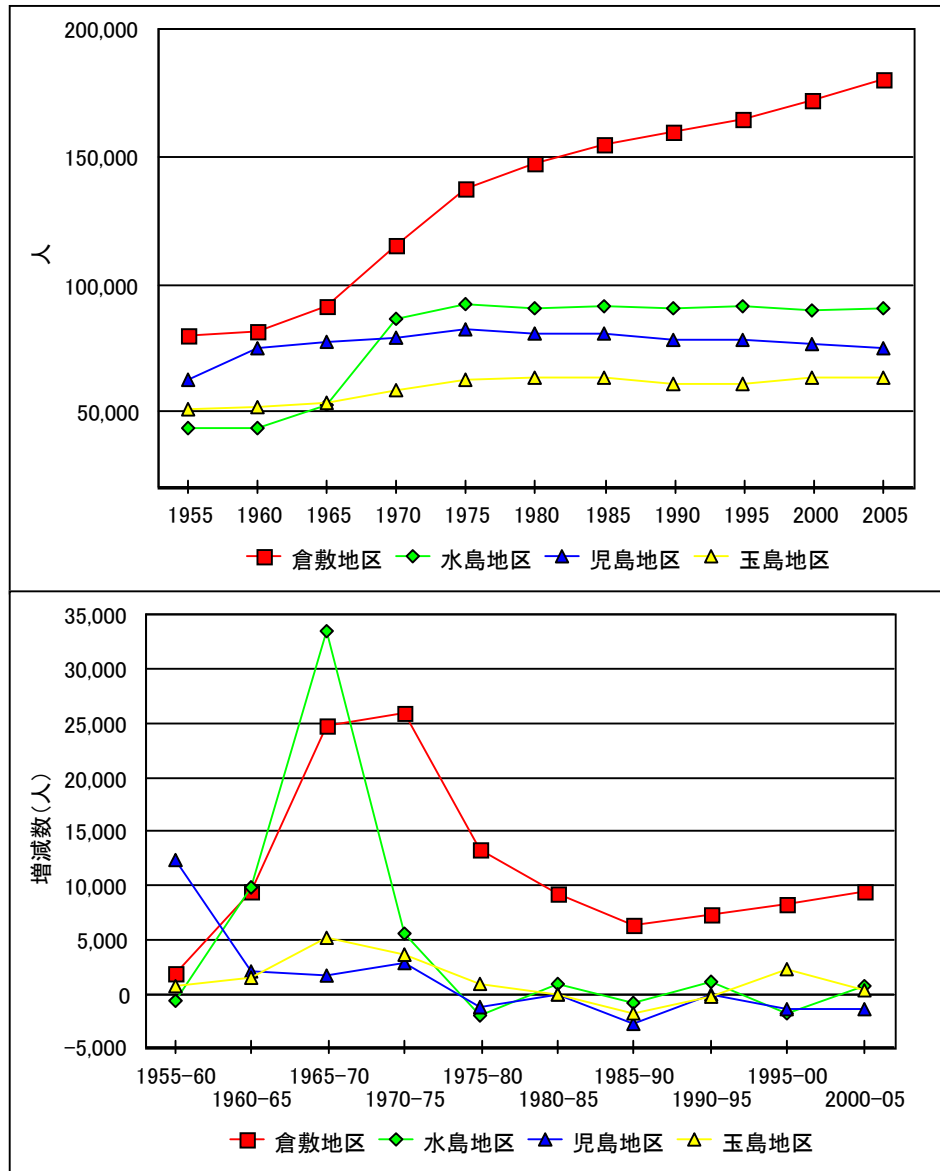
1. 地域の設定：岡山・倉敷地域の就業圏域



矢印は通勤方向、%は常住就業者に占める割合

2005年 国勢調査 から

2. 地域経済の状況：人口動向



<倉敷市の例>

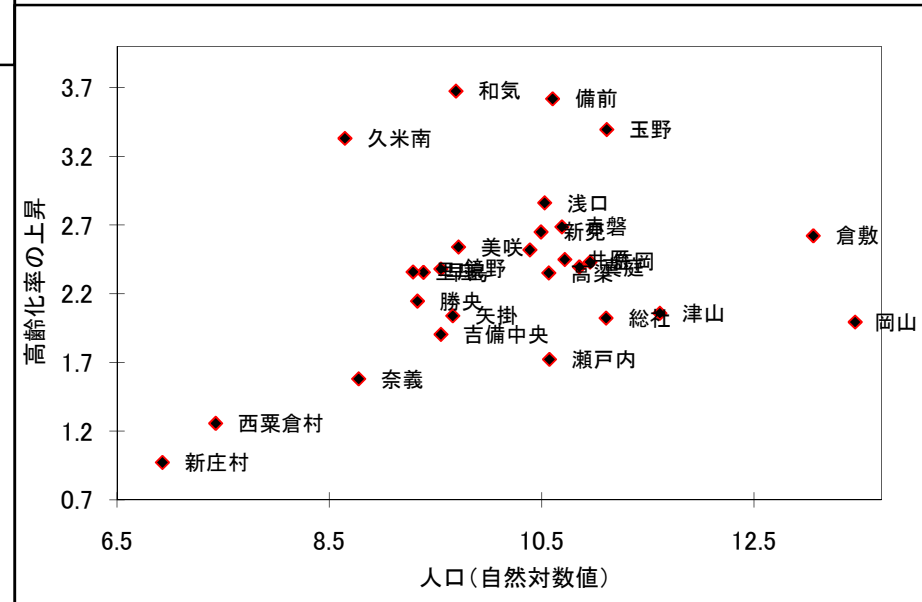
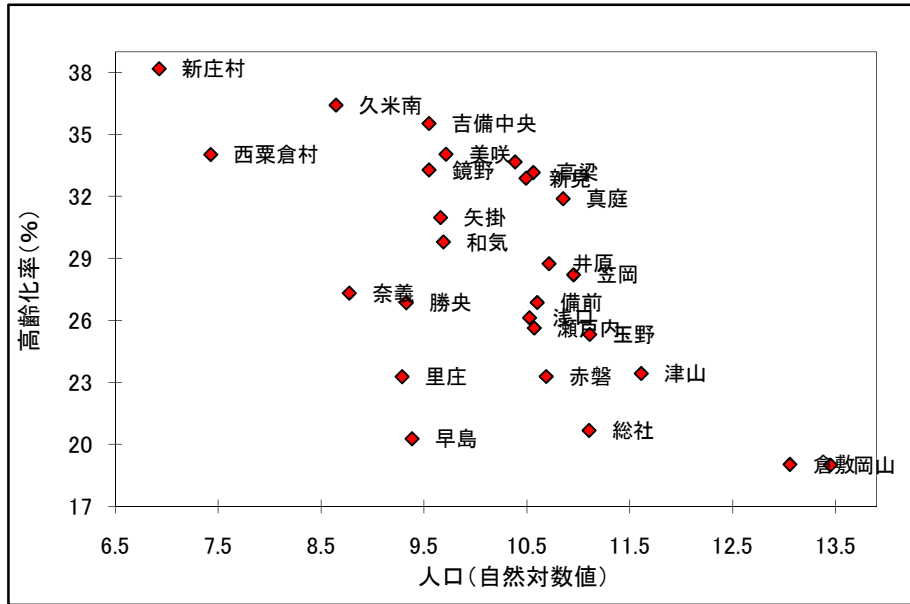
現在の倉敷市は、(旧)倉敷市、児島市、玉島市(水島地区)、真備町、船穂町などから成り立っている。(昭和42年に3市合併)

高度経済成長期における人口増加には、新産都市の水島工業地域の貢献が大きい。

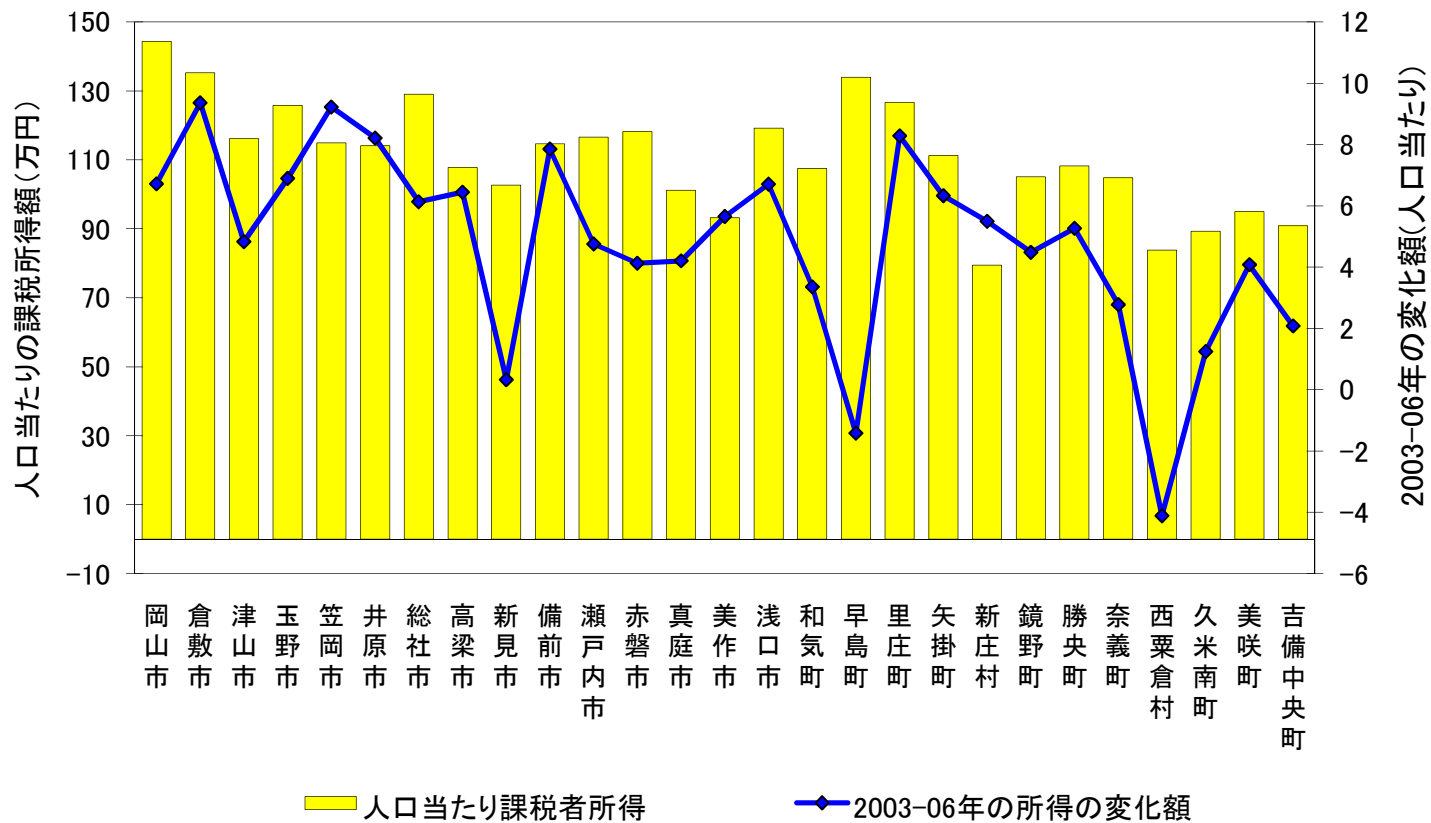
石油危機以降、(旧)倉敷地区の人口は順調に増加傾向を示している。

人口増加の観点から言えば、水島地区に加えて玉島地区と児島地区の低迷打開が課題といえる。

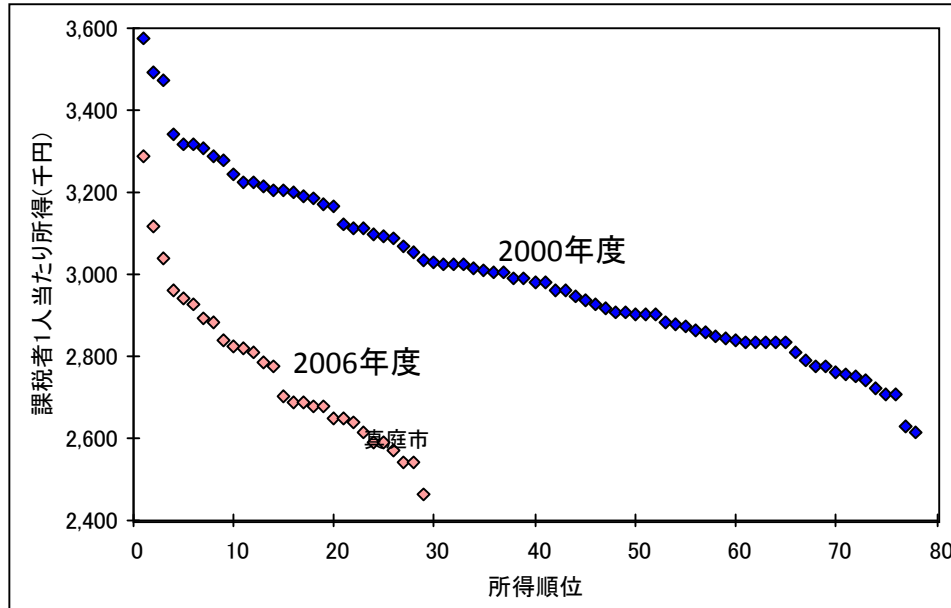
2. 地域経済の状況：人口と高齢化



2. 地域経済の状況：個人所得とその変化

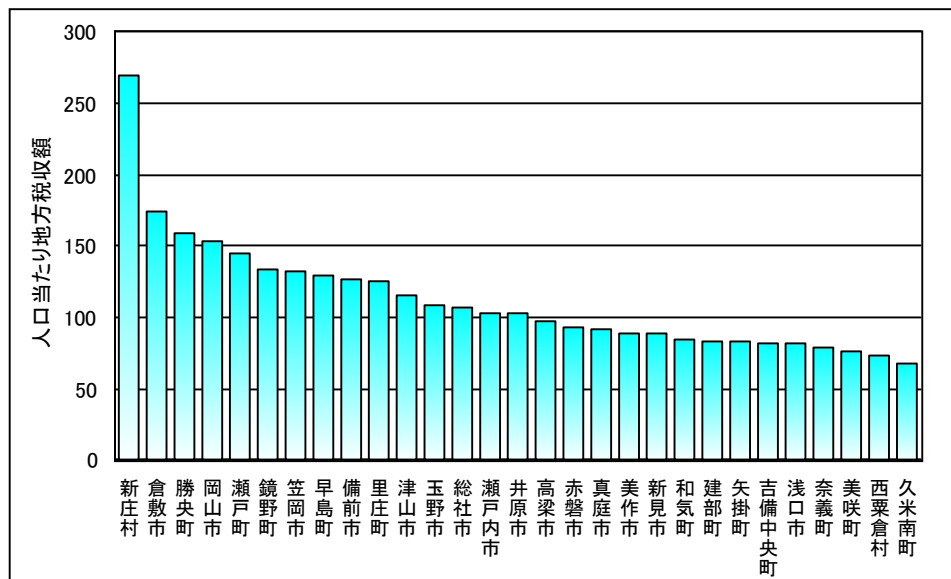


2. 地域経済の状況：個人所得とその変化



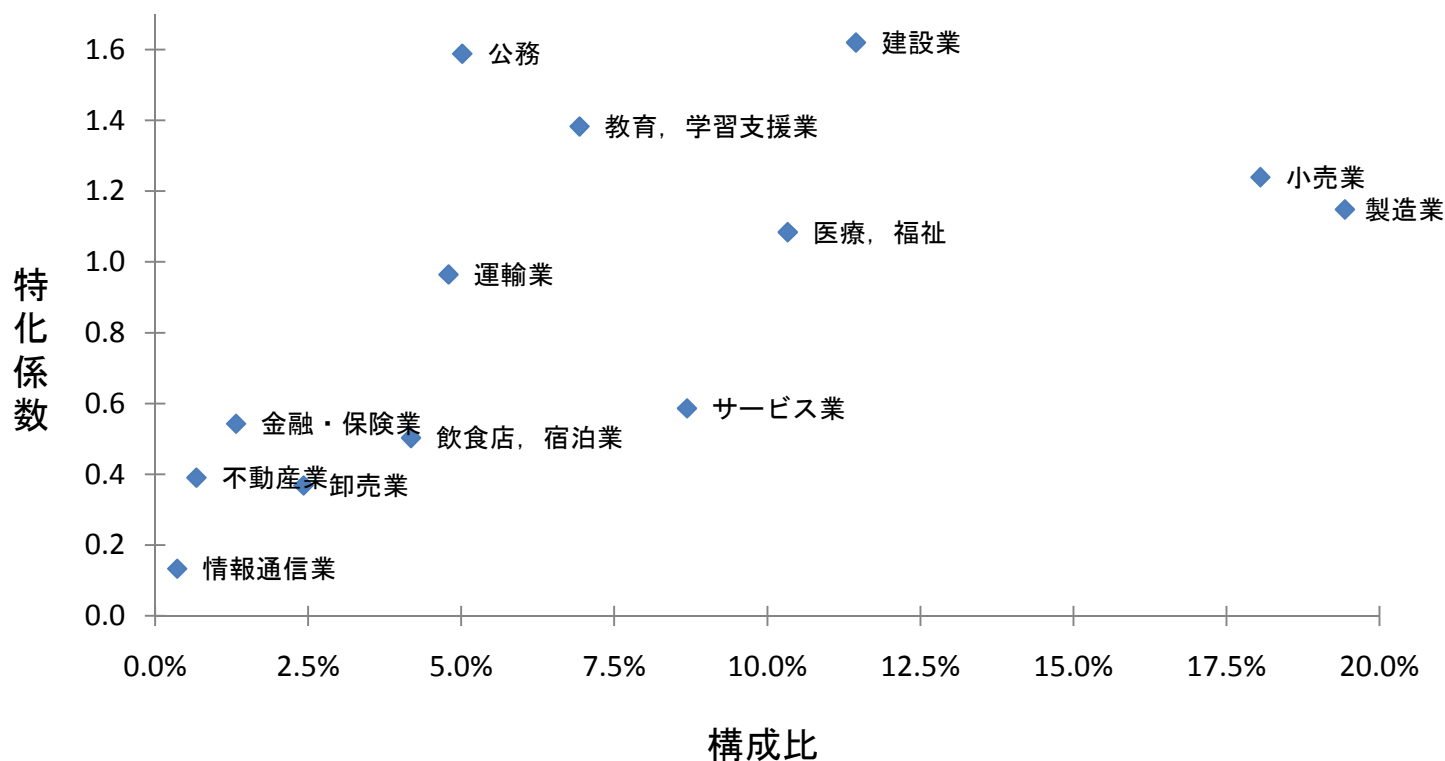
上の図は、市町村の課税者当たりの所得額の順位分布を示したものである。2000年における合併以前の岡山県市町村(78)と2006年度の市町村(29)の分布を比較している。景気動向の影響を受けて全体的に所得水準は低下したが、勾配はきつくなっている。しかし、縦軸方向のバラツキを変動係数(標準偏差を平均値で割ったもの)で見た市町村間の格差はあまり変わっていない。

下の図は、2005年度決算での住民人口1人当たりの地方税収額を降順に示したものである。地域の特殊事情により新庄村の値が高くなっているが、工場立地のある市町村の値が高くなる傾向がある。



3. 地域経済の構造：雇用吸収と所得獲得

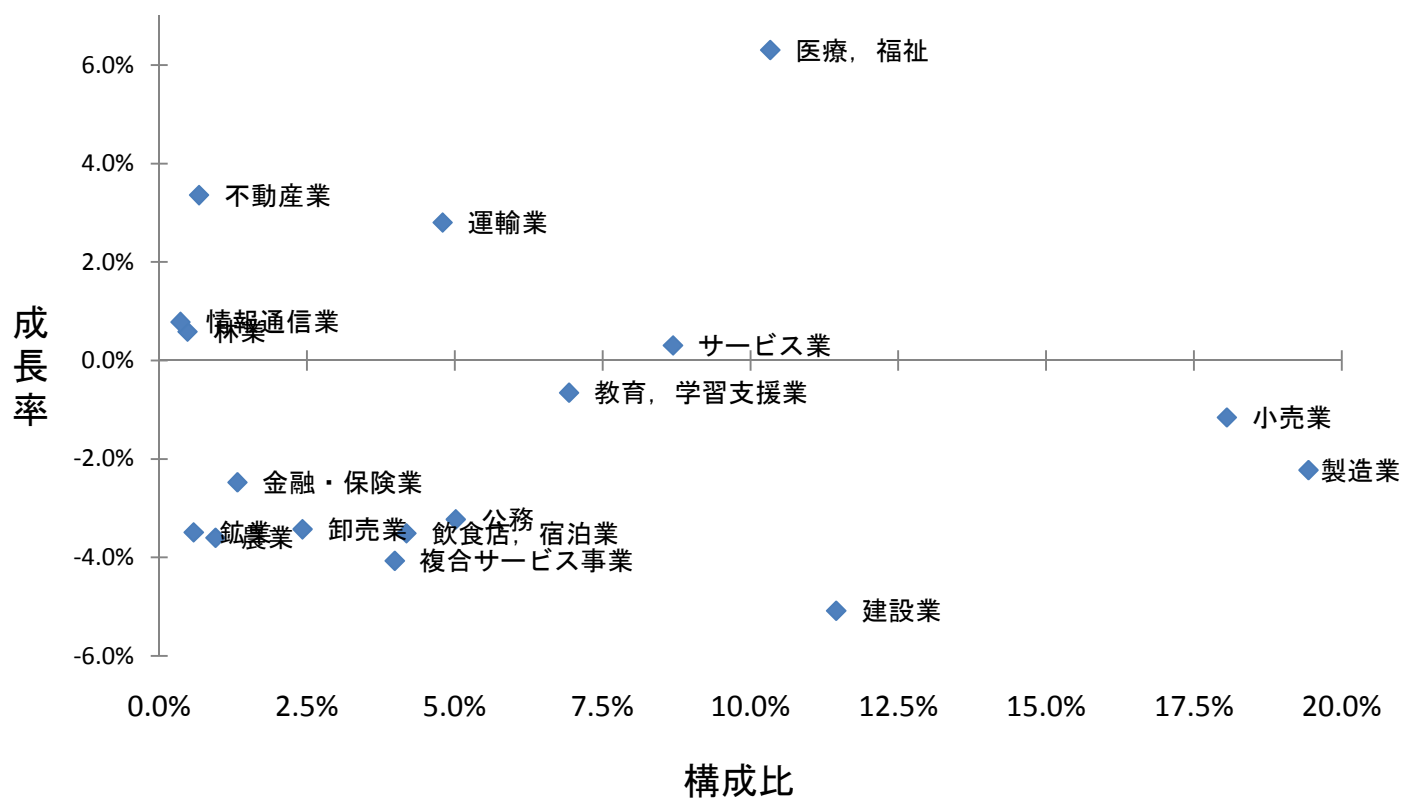
備中県民局：新見支局分



農業(1.0%, 3.0)、林業(0.5%,10.8)、鉱業(0.6%,10.2)、複合サービス(4.0%,3.3)

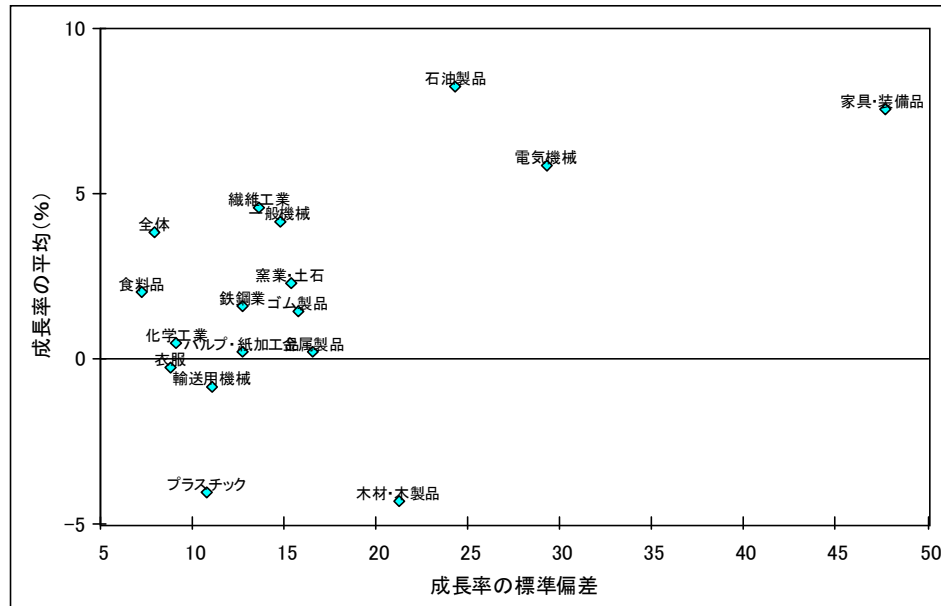
4. 地域経済の特徴：雇用吸収と成長率

備中県民局：新見支局分



事業所・企業統計調査

4. 地域経済の特徴：成長安定性

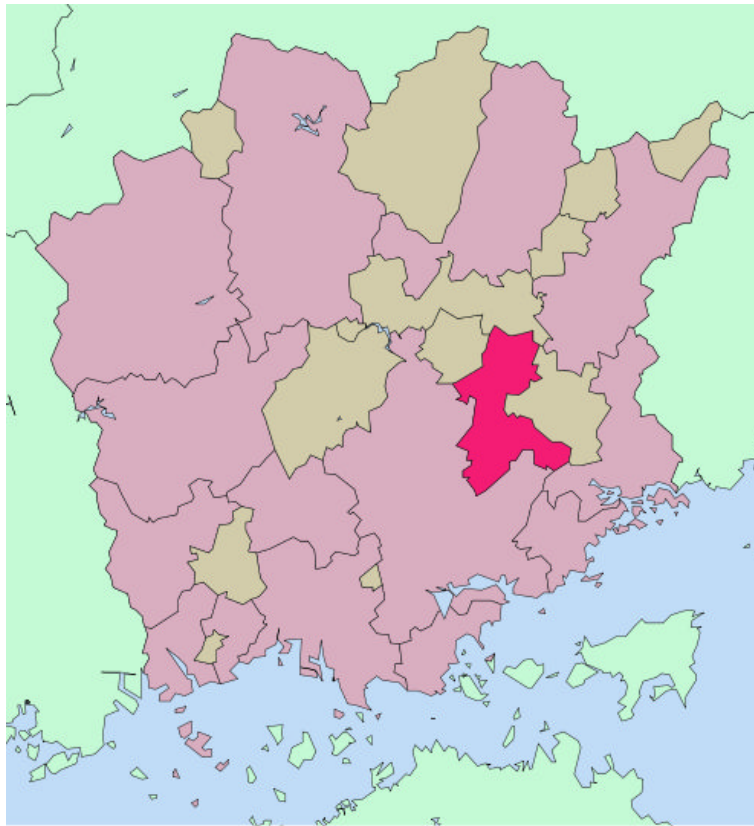


左の図は、1992年から2005年の「工業統計表：市町村編」各年における倉敷市の製造品出荷額に関して、縦軸が年々の成長率の期間平均値、横軸がその標準偏差である。成長率はその産業の収益性(リターン)を表し、その標準偏差は収益性の安定性(リスク、ボラティリティ)を意味する。

工業全体としては、ローリスクであり、一定の成長性を維持している。倉敷市において比較的集積している産業(製造業)に着目すると、繊維工業は相対的にローリスクでハイリターンとなっている。衣服に関するもローリスクであるが、成長率は高くない。ポートフォリオの効率性フロンティアの観点からすれば、石油製品、繊維工業、食料品製造業、衣服製造業などはフロンティアに位置しているといえよう。

5. 地域経済の産業連関と循環

旧赤磐郡赤坂町の取り組み

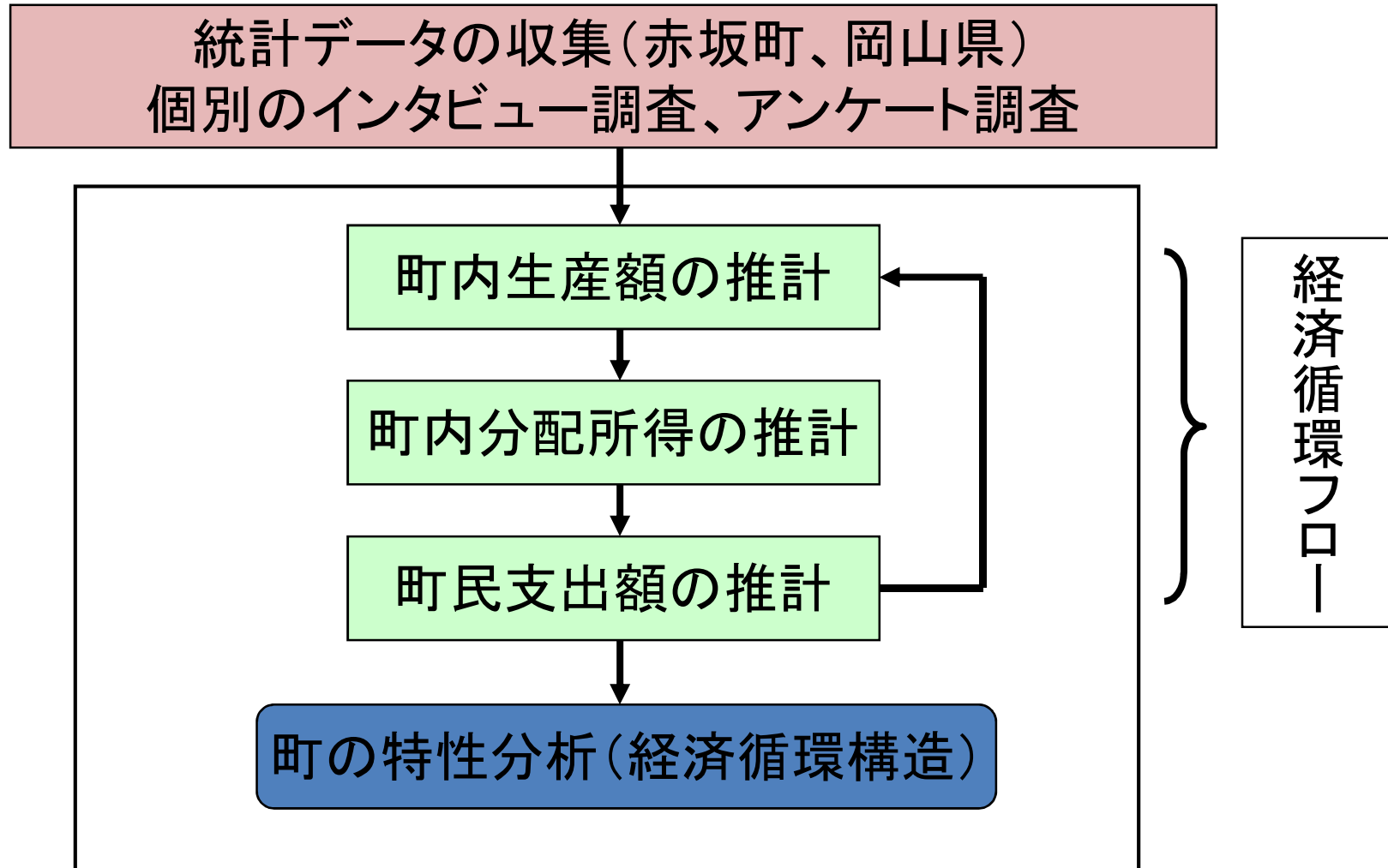


2005年3月7日合併時の赤磐市の人口は、45,646人。総面積が209.43 km²

50km

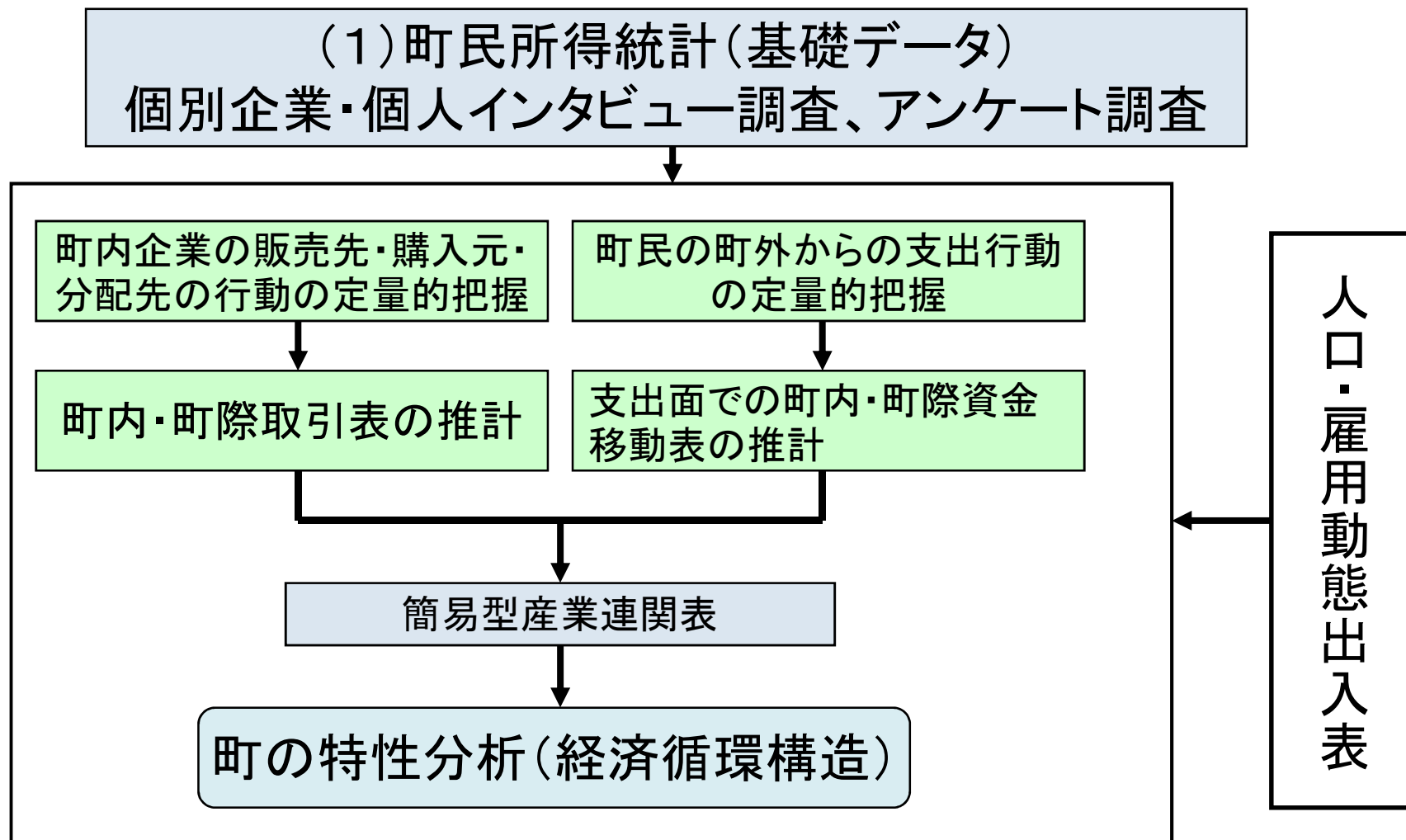
①赤坂町経済力の定量的把握

町民経済計算(町民所得統計)



②定量的把握のための「枠組み」

町内外域際収支(赤坂町版簡易産業連関表)



赤坂町全体の域際収支：需給両面

